

## ポケット ジャーナル



### ★故・金井元知事の顕彰

#### モニュメントが完成

兵庫県知事や参議院議員を務めた故・金井元彦氏の顕彰記念モニュメントが西宮市甲山町の県立甲山森林公園に完成し、11月3日に除幕式が行われた。

モニュメントは、県政や国政に活躍した金井氏の大きな功績をたたえるため、顕彰事業委員会（代表・貝原俊民知事）が県内外の多くの寄付を受けて制作。少女とイヌのブロンズ像で、「愛情」がテーマになっている。制作は峯田義郎東北芸術工科大学教授。費用は約千五百万円。



除幕式当日は公園内の色

づく木々の下、貝原知事はじめ三百名余りの人々が参加、モニュメントの完成を祝った。

★書店店主が初エッセイ集を刊行

海天堂書店代表取締役の島田誠氏の初のエッセイ集「無愛想な蝙蝠」（1800円）が先月風来舎より発売された。



主要書店で発売中

「絵をめぐる」「街をめぐる」「ほくをめぐる」の三章で構成された同書は、著者が50才の区切りとして、過去に発表した文章を中心に編まれたもの。本業の書店と画廊の主人の顔以外に、音楽、演劇ファンとして、地域文化に関わる創造

的な活動を続けてきた島田氏の本だけに、味わい深い内容に仕上がっている。

ちなみにこの奇妙な題名は、商売人でもない文化人でもない違和感のある自分の存在を「蝙蝠」と呼んでいるところから付けられたそうだ。

★目指せ！プロのミュージシャン

懐ハーフトーンミュージックグループは、真のミュージシャンの発掘を目的としたオーディションを開催、その参加者を募集している。

今まで数多くの優秀なミュージシャンを世に送り出してきたこのオーディションも8回目を迎え、今回からは全国各地からの応募も可能となった。前回同様、ドラム、ギター、ボーカルなどの各パートのプレイヤーを対象とした「プレイヤー部門」と、オリジナル作品を所有している作詞家、作曲家、シンガーソングライターなどクリエイター志向のミュージシャンを対象とした「クリエイター部門」の二つの部門で募集。両部

### ★誕生日ありがとう運動



私の出会った宝子たち!!

車大好き Nさん

今日も信号の所で自転車にまたがってじっとしています。

一時間以上も車を見ている時もあります。S町では、「あっ、あの信号の子」と、有名になっています。途中、知っている人に出会って、声をかけられると、やっとな動きますが、学園にくる迄に何力所か、立ち止まる場所が決まっています。

車がたくさん通るとこ機嫌で、学園からバイパスの車が時々見えると、「ようさん、車やな〜」と顔を、はこぼせています。性格は、温和で、何を言われても怒らず、時々、「先生、〇〇さん、アホいうねん、怒ったって」というぐらいいす。

おっとりしているのが彼のいい面でもあり、欠点でもあります。ポ〜としてることが多いので「電信棒」とか、首をキョロキョロ動かすので、「カメ」というあだ名もついています。

十月で、二十六才になったばかりのNさんは、憎めない性格の為誰からも好かれ、Nちゃん、Nちゃん、と、ひっぱりだこです。私の大好きなNさん。「電信棒」と言われようと、「カメ」と呼ばれようと、Nさんは、Nさんらしくいて下さい。

誕生日ありがとう運動本部

〒551神戸市中央区御幸通8-1-1

神戸国際会館一階郵便局の隣

TEL・FAX

078-12311-2114

門とも、一次、二次審査を通過すればプロのミュージシャンとして活動できる。

◇応募期間 平成6年1月31日まで  
■問い合わせ 応募先 〒153東京都目黒区青葉台Aハウス2F ハーフ・トーンミュージック・オーディション委員会 電話03-3792-1555 (必ず事前に応募方法を問い合わせること)

### ★推理ゲームで異人館巡り

10月23日(土)から'94年1月23日(日)まで、北野の「ハリウッドスターウエイ」、ペルシヤ館「アメリカンハウス」ハニーベアアーワングダerland「桂由美ブライダルミュージアム」の5館で、推理ゲーム「ハニーベア誘拐事件」が展開される。「探偵手帳」をもとに推理を楽しむながら異人館を巡るという参加型の観光として旬パピロンが企画したもの。今回のミステリー担当は、神戸出身の推理小説作家日峰良介氏。

異人館の街北野にたくさんのお店が集ってきそう。

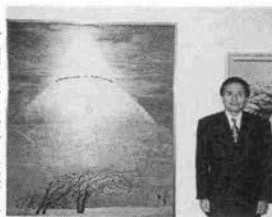
◇参加料 200円(探偵手帳代含む)  
異人館各館の入館料(5館まで)と入れる共通割引入場券「パスポート」は2千円)

### ★「新生」をテーマにした

#### 自選展

洋画家上尾忠生氏の4年

ぶりの個展「上尾忠生自選展」が10月27日から11月7日までゴッフル・アルデア北野のアート・ギャラリーで開かれた。



「古都幻影」と上尾さん

今回は、「新」「蘇生」というテーマを、「木」というフォルムを借り、古墳やヨーロッパの古都の組み合わせにより表現した作品が展示。長い歴史の蓄積の中から新しいものが生れ、新しいものが蘇生していくモチーフが、上尾さんの深遠な思いと対象への冷徹なまなざしにより、心象風景的な画面に深く刻み込まれていた。

すでに新しいテーマに挑戦している上尾さん。この10年余りの活動の一区切りとなる個展であった。

### ★大浦みずきいよいよ

ミュージカル女優へ始動  
洗練された大人のムードと宝塚屈指のダンスで多く

ファン的心を捉えていた大浦みずきさん。タカラヅカ退団後2年の充電期間を経て、初のミュージカルの制作発表が11月9日ホテルリントーナショナルで行なわれた。

注目の初舞台は'94年2月11日、27日シアター・ドラマシティで上演される「ザ・シンギング」。NYに住むコピーライターと火星からやってきた青年との奇想天外なお話。



共演の岩本恭生さんと

大人のメルヘンチックなラブコメディの楽しさと共に颯爽としたキャリアウーマンから文金高島田、そしてマタニティドレスまで披露する大浦みずきの演技と着こなしに注目。

### ★いまスウェーデンの催し

#### 花ざかり

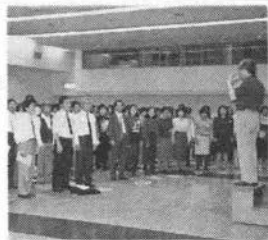
去る10月24日、中央区の相楽園会館で催された「関

西日本スウェーデン協会」のチャリティバザー。初めての催しとしては、約800人の人があり、成功を収めたようだ。人気を集めたのは会員が寄贈した洋酒や、手作りのケーキ。ほか

多くの出品があった展示即売会の収益金は神戸市に寄託された。神戸は居ながらにして他国の文化に触れることのできる街だが、このような催しに参加することで、より一層の親しみが生れるもの。日本スウェーデン協会では12月12日、神戸外国人クラブで最大の催し「ルシア祭」を開催。また11月20日には北野町で「キヤセリン・アンダーセン邸/スウェーデンの館」が開館するなど、今神戸ではスウェーデンの文化が花ざかりだ。

### ★創立42年目の異下最大の合唱団が団員募集

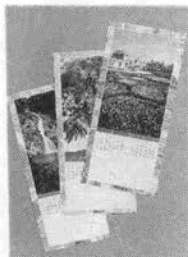
200名以上の団員を擁する「神戸フロイド合唱団」は性別も年齢も関係なく、まさしく老若男女が集う、全自主運営の手づくり合唱団。「フロイド」の名前の通り、一九六一年以来「第九」演奏を続けてきている。



熱気あふれる練習風景

とこちらに伝わってきた。  
尚、同合唱団では、サマ  
ーコンサート（ハイドン・  
オラトリオ「四季」）に向  
けて新しい団員を募集して  
いる。楽譜が読めなくて  
も、うたの好きな人なら誰  
でも参加できる。

久、六甲全山縦走、布引の  
滝……。神戸の新名所など  
も含めて、神戸らしい風景  
がカメラマンの森田純三さ  
んによって写しだされてい  
る。12月よりインフォメ  
ーションこうべで1カ月、  
1部700円で販売される。



取材に伺った時は、間近  
に迫った「第九」の公演に  
向けて、指揮者の外山雄三  
氏の厳しくもユーモアあふ  
れる指導の下で熱のこもつ  
た練習の真最中。六カ月に  
わたって練習を重ねてきた  
という団員の気迫が、大合  
唱の迫力と共に、ひしひし

■問い合わせ先 神戸フロイ  
デ合唱団 〒650神戸市中央区海岸通  
2-13-11昭和ビル6F  
☎078-39112613  
(火、土、日を除き18時以降)

★'04神戸のカレンダー発売  
神戸市民祭協会より、来  
年度カレンダーが発売され  
る。ハーバーランド、フル  
ーツフラワーパーク、神戸  
まつり、六甲マリンパ

■プレゼント、このカレンダーを  
10名様にさし上げます。ハガキで  
編集室ポケットジャーナル カレン  
ダー係まで12月末日までにお申し  
込みください。

街が揺れた。新しいスタ  
イルの博覧会と称したフ  
エアは「ハーバーランド」  
や「六甲アイランド」の  
街づくりの披露というこ  
とでそれなりに目玉は機  
能したといっている。

## 計時花



### 神戸の「新しい道」

一九九三年もいよいよ  
その波乱の多かった年の  
暮れを迎えようとしてい  
る。これ程の不況に陥る  
ということは何れも予想  
し得なかったことであ  
る。

その不況に追い打ちを  
掛けたのが、冷夏による

空前の米の凶作であつ  
た。  
平成五年は、日本丸は  
難航の年であった。政治  
の有様が変わったことは  
特筆ものだ。戦後、リー  
ダーシップを取り続けて  
きた自民党から連合政党  
の非自民党に政権が移り  
細川首相が登場し、連合  
政権による政治に変わった  
ということ、画期的な  
ことであったといえる。  
神戸は今年は一アーバン  
リゾートフェア'93で幕を  
あけたこともあって比較  
的賑わいと、ときめきに

最近の朗報は、「明石海  
峡大橋」で工事の進捗率  
50%を超えるということ  
である。更に神戸市は、  
いよいよ「神戸レジャヤ  
・ワールド」―テーマパ  
ークに取り組む声明を発  
表したが、再選された笹  
山市長の奮闘を大いに期  
待したい処だ。 A Y V

## ◆KOBE POST

★12月22日午後6時より「佐藤藤  
さんの神戸文化賞地域功労賞受賞  
を祝う集い」を、生田神社会館4  
Fホールで開催。会費1万円。事  
務局/月刊神戸/子書(33)224

6 ★12月2日午後6時から、神戸オ  
リエントルホテルにおいて「増田  
正和ひとしごと」の出版記念会  
が開催された。故増田正和(遺形  
作家)さんの本は、A4変形280  
×220mm96頁限定500部¥7000

連絡先/増田和子〒658東灘区御影  
山手4-15-5/増田正和出版事  
務所・山本一了〒650中央区三宮町  
3-6-11 ☎ FAX 078(393)009  
9 2

★詩人の三浦照子さんが転居。〒  
659芦屋市大東町18-6-319 ☎07  
9 7(22)0593

★読売新聞神戸支局は、11月1日  
付で「神戸総局」に。兵庫県内、  
神戸、姫路、洲本、豊岡、阪神五  
支局の神戸総局として情報発達の  
中核基地に。総局長/白石喜和〒  
650中央区北長狭通5-8-3 ☎078  
(391)7491

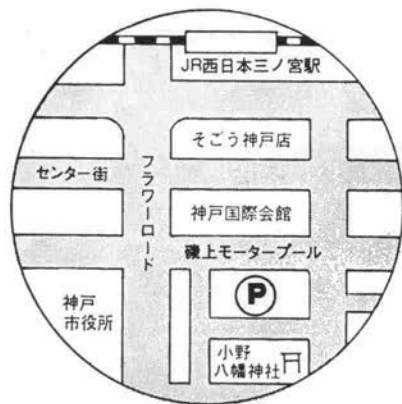
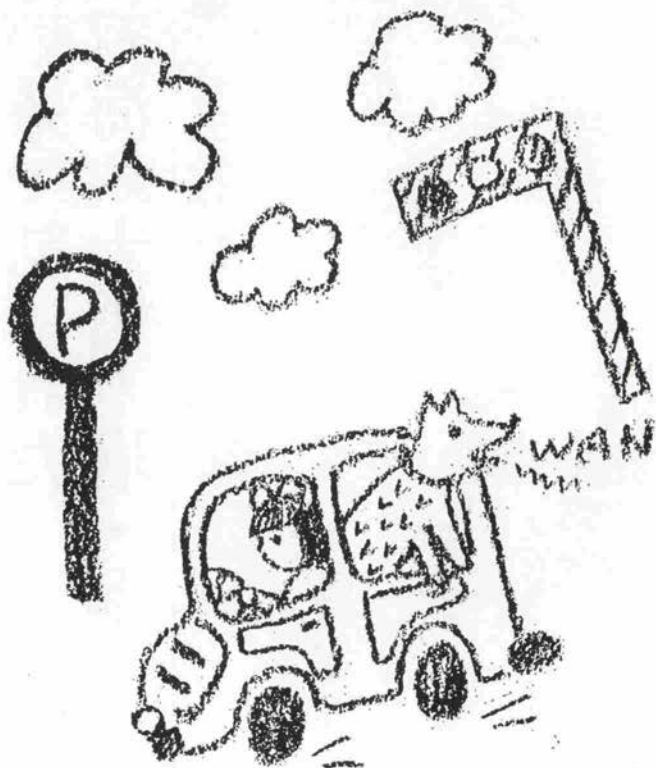
★神戸レジャヤワールド開発協会の  
柳下健二氏が、10月1日より同社  
の非常勤取締役を兼務のまま日本  
郵船神戸支店新事業開発室に戻  
られた。〒651中央区浜辺通2丁目  
1-30三宮国際ビル10F ☎078(232)  
9700

★作家・筒井康隆氏の母・菅八重  
さんが10月29日に亡くなられ、30  
日に千里会館に於て葬儀が。ご  
冥福をお祈りいたします。

★ジャズ歌手として活躍された、  
森哲也さんが11月22日に、高血圧  
で死去(52歳)。23日午前11時より  
兵庫教会で葬儀が行われた  
喪主は、長男の森克己さん。心よ  
りご冥福をお祈りいたします。

★神戸ハワイアン倶楽部のクリス  
マスパーティ/於、フィッツィンダ  
ンスホール午後6時より、会員7  
千円一般8千円 ☎078(27)1223

ビジネスに!  
ショッピングに!  
ご利用ください



## 磯上モータープール

(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)

- 収容台数 350台
- 月極駐車可
- 年中無休

# 赤い糸で結ばれた 明石海峡大橋主塔・本州と淡路

三条

杜夫

〈放送作家  
フリーアナウンサー〉

写真／米田

英男



11月10日、いよいよ本州と淡路島がつながる。

結婚披露宴の司会をしていて、よく耳にするスピーチ、「二人は赤い糸で結ばれる運命だったのでしょう。小指と小指の間に目に見えない糸でつながれていたのです」

まさに、それだった。明石海峡大橋の二本の主塔がオレンジ色のロープで結ばれた。2Pと工事関係者の間で呼ばれる舞子側主塔と3Pと呼ばれる淡路側主塔の間の距離は1・99km、その間を往来してロープを渡す大型ヘリコプターがさながら「愛の天使」に見えた。

★時代の最先端をいく科学の粋を結集した  
一大事業も大安吉日を選ぶ？

昭和63年5月に始まった世界一の長大吊橋、明石海峡大橋の工事。5年6カ月を経て、本州と淡路島が一本のロープで接続される日がやってきた。神戸側アンカレイジ（橋台）から2本の主塔を経由して、淡路側アンカレイジまで約4kmをパイロットロープ（誘導ロープ）で結ぶ、その記念すべき作業が、平成5年11月10日に行われた。

渡海作業と呼ばれる最初のロープを張る作業をマスコミ各社に披露しながら進めることとなったが、その瞬間を僕はラジオ関西の朝ワイド番組で生中継することとなった。

中継班が陣取ったのは、垂水区五色塚古墳の後円部。かつて、豪族が淡路島を一望するこの地を未来永劫、その権力を誇った記念碑建立の地と定めたくらいだから、ここからの明石海峡のながめはズバ抜けて良い。

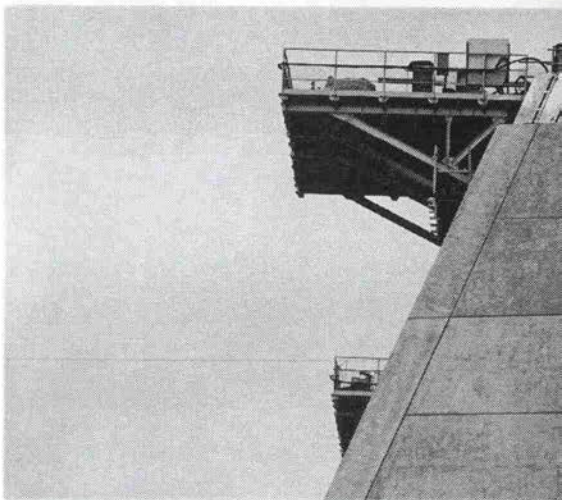
10年がかりの工事の中盤のクライマックスともいえるパイロットロープ渡海作業に、世界でも初めてヘリコプターを使用することとなった理由は、明石海峡が一日当たり1500隻もの船が通過する“海の銀座”と呼ばれるほどの過密状態にあることによる。瀬戸大橋の建設時は、クレーン船を使ってパイロットロープが張られたが、なにしろ、ヘリコプターでの渡海作業は見もので、胸がおどった。

作業は天候に左右され、午前7時から午後5時の間に、視界4000m以上、風速9m以下、雲の高さが350m以上の条件を満たした時に行うものと定められ、本四公団から招きを受けたマスコミ関係者らは、早朝より世紀の一瞬を見守ろうと詰めかけていたのだった。

7時50分、神戸側1Aアンカレイジからヘリコプターが飛び立った。ロープを張るのかと思っただが、まずは試験飛行。その後、本番となり、淡路側主塔から神戸側主塔にロープが渡された。ヘリ



上／舞子側の橋台から飛び立つヘリコプター。  
中／現場では200人の作業員が見守る。  
下／300mの高さを持つ主塔にロープを固定。



下の方に見える一本の線が直径1cmのロープ。

コプターは「スーパーピューマ」と呼ばれるフランス製の4人乗り。機体の下にロープを巻き付けた大きなリールを吊り下げての飛行だ。リールの重さが850kg、ロープの重さが2200mで200kg、これに燃料、乗務員を合わせ2・46トンの重さだ。

アンカレイジと主塔とのロープ渡しは、2カ所とも、上昇しながらロープを張っていく方法を使った。下降しながらだと、重量がかかり過ぎて難しいという。途中で燃料の補給やロープの交換などを行って、ロープを固定し終ったのは10時23分。風が強まって、45分間の待機はあったものの、作業はきわめて順調に進んだ。オレンジ色のロープで本州と淡路島が結ばれたわけだが、文字通り「赤い糸」が取り持つ縁。ちなみに、この日は大安吉日だった。

時代の最先端をいく科学の粋を結集したこの一大プロジェクトにさえ、縁起がかがられるーそこに、僕は人間らしい心配りを感じた。自然との調

和のもとに、叡智を集めた一大事業を敢行しようというやさしさも感じた。

★半年かけて空中作業足場を設置後、主ケーブルの素線の架設を

海峽を飛ぶヘリコプターがまるで蝶のように見えた。そういえば、蝶がヒラヒラと大海原を渡っていくという誰れかの詩があった。また、実際にトンボやチョウが海を渡るという話を、大橋の主塔工事にたずさわった作業員の口から聞いたことも思い出した。海面約300mの鉄塔の上で、黙々とクレインを動かしていた作業員。彼の心を慰めたものが、海を渡る虫たちだった。

五色塚古墳からヘリコプターをながめながら僕の目にはヘリコプターがチョウにもトンボにも映るのだった。少し距離を隔てた僕の位置からは、残念ながら赤い糸は見えなかった。1Aアンカレイジに本誌記者が詰めかけていたが、彼の目にも

地上300mから眼下にひろがる大パノラマ展望。





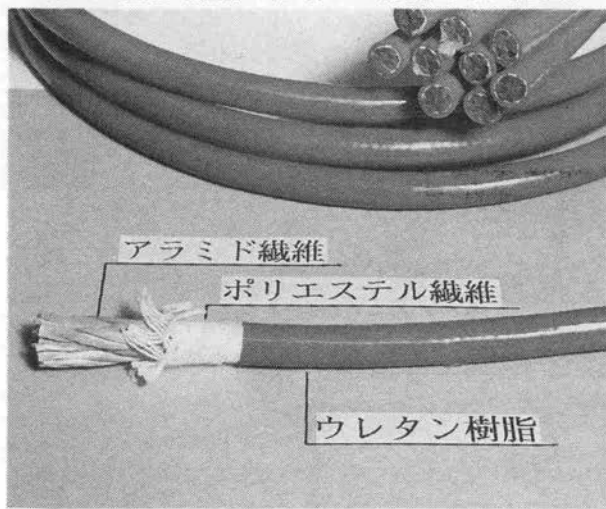
当日使われたロープを手にする三条さん

赤い糸は見えなかったという。ちょっと距離を隔てるだけでロープは見えなくなる。それくらい細いロープなのだ。直径がわずかに1cmというロープ。それが渡された主塔の上に、僕は立ったことがある。それは今年の3月。ラジオの取材で神戸側主塔にのぼった。工用エレベーターでコトコトと主塔をかけたのぼり、てっぺんから見た海上300mのあの絶景はいつまでも忘れられないだろう。360度を見晴かす素晴らしいパノラマ。淡路島の中心部から奥播磨あたりまで見えるその眺望は、まるで天下を取ったような気分だった。



河口浩第二工事長

米デュポン社開発の新素材。一本80ミクロンの線を束にしてロープにする。



その主塔にロープが渡されて、本州と淡路島が結ばれる。僕は言いしれぬ感動を禁じることができなかった。しかし、そのロープとは一体どんなものなのだろう？ たまらない好奇心にかりたてられた僕は、ついに、本四公団を訪れ、それと同じ現物を見せてもらうことにした。

垂水の平磯にある公団事務所。工事長の河口浩二さんがロープを見せてくれた。何本か短く切断して束ねたものを見た時、僕はウインナーソーセージを連想したが、長いものは決してそんなイメージではない。アラミド繊維という軽量で高強度の新素材だ。防弾チョッキやテニスラケットのフレーム、漁網、オートバイ用の服などにも同様のものが用いられるという繊維は摩擦にも強いことが何よりの特長という。





平成2年から準備を始め、この11月10日午前10時23分、作業は終了した。大橋の完成に向けて作業員の努力は続く。 photo/米田定蔵

「平成2年に芦の湖で実験したのを皮切りに、翌年には六甲アイランド沖でクレーン船を主塔に見立てて訓練したり、先日11月8日には現場で本番体制同様にリールをへりにぶらさげて練習したり、苦勞の積み重ねが成果につながった」と、河口さんは感慨深げに語る。

「海上保安庁、航空局、船舶関係機関の協力と作業に従事した200人余りのスタッフの労にも感謝したい」と、付け加えることも忘れない。

パイロットロープは少しずつ太いロープに換え、半年かけてキャットウォーク(空中作業足場)を設置、来春からは主ケーブルの素線290本を一本ずつ架線する作業が始まる。舞子奥に住む僕は毎日、自分の部屋から主塔をながめているが、橋がいよいよ橋らしい姿を見せ始める日が近づいていることを思うと、僕の心は今さらながらとくきめくのだ。

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員  
継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確かめのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

□入会申込・お問合せは――

〒650 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9 F  
TEL・078-331-2246  
FAX・078-331-2795

“流れる季節に”

藤本ハルミ作品集

定価 3,000円

日本の伝統美きものを素材にモダンな洋服づくりを25年積み重ねてきたファッションデザイナーの藤本ハルミさんが、ライフワークの作品をまとめた作品集を出版されました。

上記作品集を会員の方5名様にプレゼントいたします。締切は12月22日（水）必着。



藤本ハルミさん

月刊神戸っ子'94新年会  
第18回神戸文学賞授賞式

日時  
平成5年1月18日（火）  
午後6時30分

会場  
生田神社社会館4Fホール

会費  
¥ 10,000（一般）  
¥ 9,000（神戸っ子倶楽部会員）

プログラム  
・第18回神戸文学賞授賞式

会員のみならず、お問い合わせのうえ、ぜひお越し下さい。

■上記プレゼントを御希望の方は、ハガキに住所・氏名・会員No.・電話番号・希望のプレゼントを明記の上、〒650 中央区東町113-1 大神ビル9 F月刊神戸っ子・神戸っ子倶楽部まで

渡辺二笙著  
木彫

千支シリーズ いぬの図案集



定価 850円

上記図案集を会員の方10名様にプレゼントいたします。締切は12月22日（水）着。